

別紙様式 1

令和 5 年度昭和北中学校区研究推進計画

校番 (1 7) (昭和北中) 学校

校長名 九十九 尚志

1 学校教育目標

未来を拓く人間の育成

2 目指す児童生徒像

コミュニケーションを図り，協働する児童生徒

- ・ 意欲的に学習に取り組む児童生徒 → 勉強・時間
- ・ コミュニケーション力のある児童生徒 → あいさつ・話し合い活動
- ・ 自信をもって自律的に活動する児童生徒 → そうじ・児童生徒会活動

3 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

| 設定した資質・能力 | 知識及び技能 | 思考力，判断力，表現力等 | 学びに向かう力，人間性等 |
|-----------|--|---|---|
| | 知識・技能 | コミュニケーション力 | 自らへの自信 |
| | ・学んだ知識や技能を既習内容と関連付けて構造化し，それを活用しながら，課題解決する姿。 | ・課題を設定し，その解決に向けて，協働しながら新たな考えを創造し，表現しようとする姿。 ・課題の解決に向けて，粘り強く仲間とともに行動しようとする姿。 ・多様な価値観を受容し尊重することで，多面的・多角的に考察し，公正に判断できる姿。 | ・自分のよさを知り，自信をもって行動できる姿。 ・自己および自己を取りまく社会に誇りをもち，自らの生き方について考え，行動できる姿。 |
| 後期 | ・学んだ知識や技能を既習内容と関連付けて構造化し，それを活用しながら，課題解決している。 | ・多様な価値観を受容し尊重することができる。 ・課題を設定し，その解決に向けて，協働して新たな考えを創造し，表現することができる。 | ・自己および自己を取りまく社会に誇りをもち，自らの生き方について考え，行動することができる。 |
| 中期 | ・新しい知識や技能を習得するとともに，それらを活用しながら，課題解決している。 | ・様々な事柄や他者と関わることで，多様な価値観を受け入れ，公正に判断することができる。 ・自分たちの課題を設定し，その解決に向けて，お互いに考えや気持ちを伝え合うことで，ものの見方や考え方を深め，表現することができる。 | ・自分の内面を見つめ，振り返ることを通して，自身を知り，自信をもって行動することができる。 |
| 前期 | ・新しい知識や技能を習得している。 | ・身の回りの事柄や他者と関わることで，自分や他者のよさや違いに気付くことができる。 ・身近な課題を設定し，その解決に向けて，人とつながり，思いを表現することができる。 | ・自分のよさに気付き，自分の考えに自信をもつことができる。 |

4 研究主題等

(1) 研究主題

コミュニケーション力を発揮しながら主体的に生きる人間の基盤づくり

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

グローバル化の中で世界と向き合うことが求められている今、様々な人々と世代を超えた交流を通して、共に尊重し合いながら協働して生活していく力や、未知の状況にも対応できる力が必要とされている。

しかし、本中学校区の児童生徒には、次のような課題が見られる。

- 習得した新しい知識や技能を活用しながら、課題解決することが難しい児童生徒が多い。
- 課題を設定し、その解決に向けて、協働しながら新たな考えを創造し、自分の考えを表現する力が弱い。
- 他者の多様な価値観を受け入れ、自分で考えて公正に判断することが難しい児童生徒が多い。
- 周りの目を気にして自分の思いや考えを表現することが難しかったり、自分の考えに自信をもって行動しにくかったりする児童生徒が多い。

これらの課題に対して、コミュニケーション力を発揮しながら主体的に生きる人間の基盤づくりを行うために、3つの部会を設定した。「授業改善部会」では、コミュニケーション力の育成を図り、「生活・総合的な学習の時間部会」では、協働して課題解決を図る力を育成し、「集団づくり部会」では、かかわり合い、認め合える人間関係の育成を図る。

(3) 研究仮説

たくさんの人とかかわり合い、協働して課題を解決したり、自分の考えを表現したりする活動を仕組みば、多様な価値観を受容しながら、新たな考えを創造し、自らの生き方について考え行動できる児童生徒を育成することができるであろう。

5 研究内容

[授業改善部会]

○ 部会テーマ

学力向上を図るコミュニケーション力の育成

～伝え合い、学び合う活動を通して、自分の考えを表現する～

○ 取組内容

- ・小中を一貫するカリキュラム作成
- ・自分の考えや気持ちなどを伝え合うためのICTの活用
- ・日本の伝統と文化を外国人へ紹介するための言語活動指導（ALT、JICA等との連携）
- ・学力に課題のある児童生徒に対する指導方法の工夫（個別支援の充実）
- ・次時につながる「振り返り」の工夫
- ・児童生徒の問いを生かした「考える授業づくり」

[生活・総合的な学習の時間部会]

○ 部会テーマ

協働して課題解決を図る力の育成

～地域のよさや課題を見付ける活動を通して，多面的・多角的に考察する～

○ 取組内容

- ・地域への愛情をもち，地域に貢献する取組
- ・地域の「人・もの・こと」とつながる取組
- ・防災教育の充実
- ・家庭・地域との連携
- ・児童生徒の問いを生かした「考える授業づくり」

[集団づくり部会]

○ 部会テーマ

かかわり合い，認め合える人間関係の育成

～他者とかがわる活動を通して，多様性を認め合う～

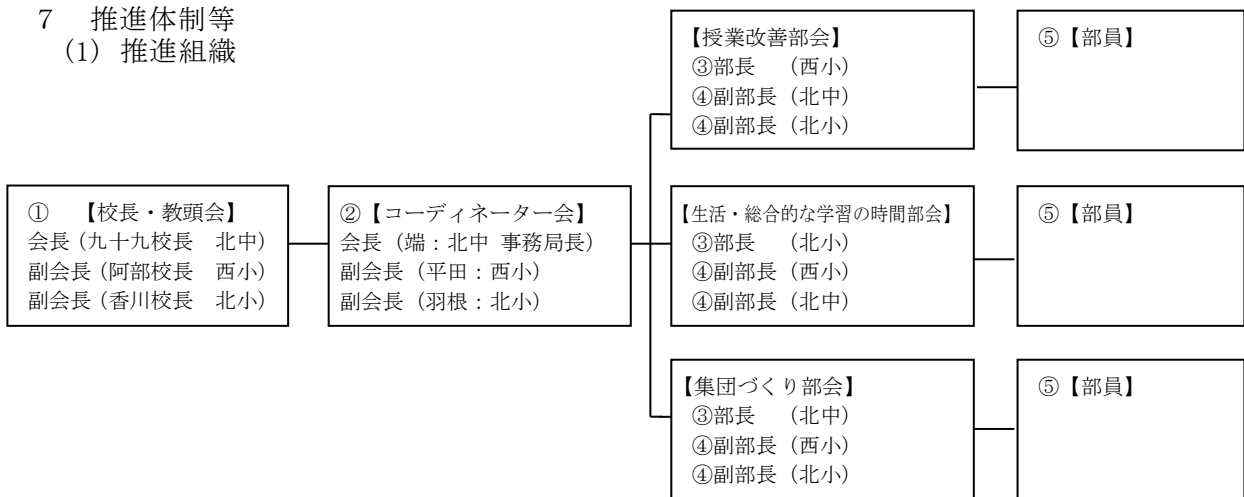
○ 取組内容

- ・特別活動・道徳科の充実
- ・考え，議論する道徳科の授業
- ・認め合える場の設定（学級・学年経営）
- ・児童生徒の問いを生かした「考える授業づくり」

6 検証について

| 検証の視点 | 方法 | 検証の指標 | 現状値 | 達成目標 |
|-------------------------|-----------------------|------------|--------------------------------------|--------------------|
| ①児童生徒の学力が向上したか。 | 全国学力・学習状況調査（国語，算数・数学） | 全国平均との差 | 小 国－0.7 算－1.2 中 国－1.6 数－3.2 | 小・中ともに0 |
| ②児童生徒の自己有用感を高めることができたか。 | 自己有用感についての児童生徒アンケート | 児童生徒の肯定的評価 | 小 89.9% 中 79.5% | 小 95.0% 中 85.0% |
| ③進路選択 | 進路実績 | 前年度との比較 | 99.3%（R3） | 100% |

7 推進体制等
(1) 推進組織



<幹事会①～③ 拡大幹事会①～④ 総会・研修会①～⑤>

① 校長会… 基本構想，各部会への指導助言等

① 教頭会… 日程調整，校長の代理

② コーディネーター会

○ 各教科・領域の年間指導計画作成等

・「資質・能力」の具体化のための取組について

・「教科の基本的な考え方」の見直しについて

○ 研究全体の牽引

・ 各部会・各担当間の調整，全体のとりまとめ，研究記録の作成

③ 部長… 各部会の取組計画，各部会の取組のまとめ等

④ 副部長… 各部会の取組等

※幹事会等で教務主任・生徒指導主事・健康安全主事・体育主任等の参加を要請する。

(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業（中→小）

教科 算数

実施対象学年 第5学年・第6学年

時数 第5学年 昭和西小，昭和北小 各学級 週1時間
第6学年 昭和西小 各学級 週1時間と隔週1時間
昭和北小 各学級 週1時間

教科 未定

実施対象学年 第6学年

時数 3学期1時間

イ 小学校教科担任制等

- ・昭和北小 第4学年（書写）
第5学年（理科・家庭科）
第6学年（理科・家庭科）
- ・昭和西小 第3学年（書写）
第4学年（音楽）
第5学年（理科・音楽・図工）
第6学年（理科・音楽・図工）

8 推進計画

| 月日 | 内 容 | | |
|-----------|--------------------------------|------|------|
| | 昭和北中 | 昭和西小 | 昭和北小 |
| 4月26日(水) | 幹事会「年間計画・取組内容」「第1回合同研修会について」 | | |
| 6月7日(水) | 拡大幹事会「年間計画・取組内容」「第1回合同研修会について」 | | |
| 8月4日(金) | 第1回小中一貫教育合同研修会(北中)…全体会・部会 | | |
| 8月25日(金) | オープンスクール(6年生) | | |
| 9月20日(水) | 拡大幹事会「第2回小中一貫教育合同研修会について」 | | |
| 10月23日(月) | 陸上記録会合同練習会 | | |
| 10月26日(木) | 西小:10月23日(月) 北小:10月26日(木) | | |
| 11月2日(木) | 第2回小中一貫教育合同研修会(西小)…5校時授業研・協議会 | | |
| 1月16日(火) | 拡大幹事会「研修会の成果と課題・第3回研修会について」 | | |
| 1月31日(水) | 第3回小中一貫教育合同研修会(北中)…部会・全体会 | | |
| 2月2日(金) | 中学校入学説明会(6年生) | | |
| 2月20日(火) | 拡大幹事会・幹事会「次年度の計画について」 | | |
| 2月27日(火) | 幹事会「次年度推進計画について」 | | |
| 3月 日() | 乗り入れ授業(6年生) | | |
| 3月26日(火) | 6年生連携 | | |

9 その他

- ・小中一貫だより(年3回発行予定)

※ 研究構想図, カリキュラムマップを添付する。